No.24

〒658-0047 神戸市東灘区御影3-7-11 日本キリスト教団 東神戸教会牧師 2016年12月発行

牧師 横山順「いのちファースト」

とする。

世界経済フォーラムが発表したのある。

とまざま議論が出されている。したまざまざま議論が出されている。 と問い、それは今いんですか?」と問い、それは今は与党に戻っている方々から大きな批判を浴びた。男女格差のランキングへは沈黙が続く。 もで、天皇の「お気持ち」表明さて、天皇の「お気持ち」表明さて、東門家の委員会はじめ、

「天皇の地位は日本書紀における天壌無窮(てんじょうむきゅう)る天壌無窮(てんじょうむきゅう)の神勅(しんちょく)に由来する」と発言したJ民党の某議員の発言には驚いた。衆院憲法審査会でのことだ。

層だった。

したのは、圧倒的に「白人男性」

米大統領選でトランプ氏を支持

りに欠ける発言が多い。

かし、人間・天皇に対する思いや

ま現代に持ち込む復古主義に唖然たい歴史観である。神話をそのま一体いつの時代なのか?信じが

下也こなるのはJR党の攻憲草向けて動き出したものだ。たことを背景に、いよいよそれへたことを背景に、いよいよそれへをことを背景に、いよいよそれへ

機感を抱くものだ。 らぬ人々が「問題あり」として危案である。しかしこれは、少なか下地になるのはJ民党の改憲草

でが書かれている。 目標かのように「家庭の役割」ま

描かれたか一目瞭然の代物だ。らして、この草案がどこの目線で逆転して国民に強いている一点かごをする義務を、これまでと

るのだろうか。
を良き時代」の再到来を夢見ていき良き時代」の再到来を夢見てい

の思いがないかのようだ。 人層の人々の痛みの歴史と現在へ そこには黒人を始めとする非白

トランプ氏当選に当初衝撃を受の)優越主義も芽吹いている。覆っている。更には自民族(特定れわゆる自国第一主義が世界を

る。 張に満ちていたことに気づかされ 実は日本のほうが先にその主義主 少し落ち着きを取り戻してみれば、 けたように見られた日本国内も、

流行っている。
ースト」など、妙なスローガンが民ファースト」、「アスリートファ民ファースト」、「アスリートファ

か。
本来言わずもがなのことを、ま本来言わずもがなのことを、ま

言うまでもなくアメリカは白人だけの国ではない。東京はたとえだけの国ではないアスリートの現実もかりではないアスリートの現実もからではないアスリートの現実もあるし、五輪後の建物維持の課したとえだけの国ではない。東京はたとえ

えて来る。 立てば、何をすべきかおのずと見された神からのドラマだ。そこにくリスマスは「命が第一」と示